

# 古文ドリル：「むず」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「むず」の正体

「むず」は「ず」が入っているため打消と誤解されがちですが、**打消ではありません**。「む」の強調形（もとは「むとす」）で、**推量・意志**を中心に「む」と同じ意味を持つ助動詞です。未然形に接続します。

用法	訳	主語・文脈の目安	例
① 推量	～だろう	三人称・自然現象	花咲か <b>むず</b>
② 意志	～しよう	一人称・決意	われ帰ら <b>むず</b>
③ 適當・勧誘	～のがよい／いざ～しよう	相手への助言・誘い	いざ参ら <b>むず</b>
④ 婉曲・仮定	～ような／～としたら	連体「むずる」＋体言／已然「むずれ」＋ば	行か <b>むずる</b> 人
⑤ 【ひっかけ】打消「ず」	～ない	「ず」単独（むずではない）	行か <b>ず</b>

### 識別の鉄則

- 「ず」だけで単独 → 打消の助動詞「ず」（～ない）
- 未然形＋「むず（むずる・むずれ）」の2音セット → 助動詞「むず」
- むずなら、主語が一人称・決意なら意志、三人称・自然なら推量
- 「むずる」＋体言＝婉曲、「むずれ」＋ば＝仮定

活用：○／○／むず／むずる／むずれ／○（未然・連用・命令なし。連体「むずる」、已然「むずれ」が頻出）。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① まず「ず」単独か「むず」セットか

- 「行か**ず**」＝打消（～ない）。「行か**むず**」＝推量・意志（～だろう／～しよう）。

- 「むとす」に戻せれば「むず」。「花咲かむず」→「花咲かむとす」→「咲くだろう」。

## コツ② むずの推量・意志は「主語」で決める

- 三人称・自然現象（花・雨・敵など）→ **推量**（～だろう）。
- 一人称・決意（われ・我ら）→ **意志**（～しよう）。

## コツ③ 形で婉曲・仮定を見抜く

- 「むずる」+体言 → 婉曲（～ような）。「来むずる人」=来るような人。
- 「むずれ」+ば → 仮定（～としたら）。「降らむずれば」=降るとしたら。

## よくある引っ掛け

- 「ず」に引きずられて打消と即断しない。**2音セットなら「むず」**。
- 「いぎ」「もろともに」があれば**勧誘**（いっしょに～しよう）。
- 「いかでか…帰らむず」は文脈で**意志**（なんとしても帰ろう）にも**反語**にもなる。

## 採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

推量・意志・打消「ず」を、純粋な形で見分ける基本問題。

### Q1. 次の傍線部を識別せよ。

花咲かむず。

Q2. 次の傍線部を識別せよ。

われ都へ帰らむず。

Q3. 次の傍線部を識別せよ。

え行かず。

Q4. 次の傍線部を識別せよ。

雨降らむず。

Q5. 次の傍線部を識別せよ。

必ず仕遂げむず。

Q6. 次の傍線部を識別せよ。

物も言はず。

Q7. 次の傍線部を識別せよ。

雪解けむず。

Q8. 次の傍線部を識別せよ。

われ討たむず。

Q9. 次の傍線部を識別せよ。

つゆ知らず。

Q10. 次の傍線部を識別せよ。

世は乱れむず。

Q11. 次の傍線部を識別せよ。

出家せむず。

Q12. 次の傍線部を識別せよ。

え見ず。

Q13. 次の傍線部を識別せよ。

鳥鳴かむず。

Q14. 次の傍線部を識別せよ。

われ文書かむず。

Q15. 次の傍線部を識別せよ。

帰らず。

Q16. 次の傍線部を識別せよ。

潮満ちむず。

Q17. 次の傍線部を識別せよ。

われ京に上らむず。

Q18. 次の傍線部を識別せよ。

名をば知らず。

Q19. 次の傍線部を識別せよ。

日暮れむず。

Q20. 次の傍線部を識別せよ。

われひとり留まらむず。

## 【第2部】 標準編 (Q21~Q50)

推量・意志に加え、適当・勧誘（いざ／もろともに）を見分ける。

Q21. 次の傍線部を識別せよ。

敵やがて寄せむず。

Q22. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、参らむず。

Q23. 次の傍線部を識別せよ。

命賭けて守らむず。

Q24. 次の傍線部を識別せよ。

舟沈まむず。

Q25. 次の傍線部を識別せよ。

はや帰らむずぞ、よき。

Q26. 次の傍線部を識別せよ。

一言も違はず。

Q27. 次の傍線部を識別せよ。

火燃え広がらむず。

Q28. 次の傍線部を識別せよ。

今宵はここに泊らむず。

Q29. 次の傍線部を識別せよ。

いぎ、もろともに行か**む**ず。

Q30. 次の傍線部を識別せよ。

月隠れ**む**ず。

Q31. 次の傍線部を識別せよ。

われ、かくと告げ**む**ず。

Q32. 次の傍線部を識別せよ。

つひに従は**ず**。

Q33. 次の傍線部を識別せよ。

春やがて来たら**む**ず。

Q34. 次の傍線部を識別せよ。

しばしここに留まら**む**ず、いかに。

Q35. 次の傍線部を識別せよ。

物の怪あらはれ**む**ず。

Q36. 次の傍線部を識別せよ。

我こそ先に参ら**むず**。

Q37. 次の傍線部を識別せよ。

え答へ**ず**。

Q38. 次の傍線部を識別せよ。

堤やがて崩れ**むず**。

Q39. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、君も来**むず**。

Q40. 次の傍線部を識別せよ。

必ずこの恩報い**むず**。

Q41. 次の傍線部を識別せよ。

風吹か**むず**。

Q42. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、歌詠ま**むず**。

Q43. 次の傍線部を識別せよ。

露ばかりも疑はず。

Q44. 次の傍線部を識別せよ。

雷鳴らむず。

Q45. 次の傍線部を識別せよ。

われ先立たむず。

Q46. 次の傍線部を識別せよ。

はや出でむず、遅きはわろし。

Q47. 次の傍線部を識別せよ。

われ敵討たむず。

Q48. 次の傍線部を識別せよ。

露も惜しまず。

Q49. 次の傍線部を識別せよ。

雲やがて隠れむず。

Q50. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、もろともに眺め**むず**。

## 【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

連体「むずる」＝婉曲、已然「むずれ」＋ば＝仮定を導入。形で見抜く。

Q51. 次の傍線部を識別せよ。

京へ行か**むずる**人を待つ。

Q52. 次の傍線部を識別せよ。

さもあら**むずれば**、用意せよ。

Q53. 次の傍線部を識別せよ。

花やがて散ら**むず**。

Q54. 次の傍線部を識別せよ。

われ命を捨て**むず**。

Q55. 次の傍線部を識別せよ。

え逃れ**ず**。

Q56. 次の傍線部を識別せよ。

死な**むず**る身なれば、惜します。

Q57. 次の傍線部を識別せよ。

雨降ら**むず**れば、傘用意す。

Q58. 次の傍線部を識別せよ。

敵つひに勝た**むず**。

Q59. 次の傍線部を識別せよ。

いかでか都へ帰ら**むず**。

Q60. 次の傍線部を識別せよ。

物言は**むず**る気色なり。

Q61. 次の傍線部を識別せよ。

つゆ違はず。

Q62. 次の傍線部を識別せよ。

世の中変はら**むず**。

Q63. 次の傍線部を識別せよ。

我こそ君に仕へ**むず**。

Q64. 次の傍線部を識別せよ。

来**むず**る人もなし。

Q65. 次の傍線部を識別せよ。

浪高く立た**むず**。

Q66. 次の傍線部を識別せよ。

われ髪下ろさ**むず**。

Q67. 次の傍線部を識別せよ。

え堪**へず**。

Q68. 次の傍線部を識別せよ。

鐘やがて鳴ら**むず**。

Q69. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、もろともに帰ら**むず**。

Q70. 次の傍線部を識別せよ。

さ思は**むず**れば、かく言ふなり。

Q71. 次の傍線部を識別せよ。

雪深く降ら**むず**。

Q72. 次の傍線部を識別せよ。

われみづから申さ**むず**。

Q73. 次の傍線部を識別せよ。

つひに姿見**えず**。

Q74. 次の傍線部を識別せよ。

風やがて静まら**むず**。

Q75. 次の傍線部を識別せよ。

われ必ず参ら**むず**。

Q76. 次の傍線部を識別せよ。

来**むず**ることあらば、知らせよ。

Q77. 次の傍線部を識別せよ。

人々みな集まら**むず**。

Q78. 次の傍線部を識別せよ。

いざ、もろともに参ら**むず**。

Q79. 次の傍線部を識別せよ。

え言ひ出ださ**ず**。

Q80. 次の傍線部を識別せよ。

花咲か**むず**れば、見に出でむ。

## 【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

文脈の長い例文で、推量・意志・適当勧誘・婉曲仮定・打消「ず」を総合的に判断する。

Q81. 次の傍線部を識別せよ。

主上やがて位を去ら**むず**と、人々嘆きあへり。

Q82. 次の傍線部を識別せよ。

われ、いかにもして本意遂げ**むず**。

Q83. 次の傍線部を識別せよ。

かかること世にあらず。

Q84. 次の傍線部を識別せよ。

軍勢ども夜討ちに攻め寄せ**むず**と聞こゆ。

Q85. 次の傍線部を識別せよ。

今は限りと思へば、形見に書き置か**むず**。

Q86. 次の傍線部を識別せよ。

露の消え**むず**る命を惜しむ。

Q87. 次の傍線部を識別せよ。

さらに承引**せず**。

Q88. 次の傍線部を識別せよ。

潮の満ち**むず**れば、舟出ださむ。

Q89. 次の傍線部を識別せよ。

いざ給へ、もろともに月見**むず**。

Q90. 次の傍線部を識別せよ。

この子おとなになら**むずる**さま、思ひやらる。

Q91. 次の傍線部を識別せよ。

我ら皆ここにて討ち死にせ**むず**。

Q92. 次の傍線部を識別せよ。

敵は今宵こそ寄せ**むず**れ。

Q93. 次の傍線部を識別せよ。

つゆばかりも心変はら**ず**。

Q94. 次の傍線部を識別せよ。

命あらば、また逢は**むず**。

Q95. 次の傍線部を識別せよ。

雨やがて降ら**むずる**気色なり。

Q96. 次の傍線部を識別せよ。

われひとり都に留まら**むず**。

Q97. 次の傍線部を識別せよ。

この国土みな海に沈ま**むず**。

Q98. 次の傍線部を識別せよ。

いかにしても、え避**らず**。

Q99. 次の傍線部を識別せよ。

さこそ思は**むずれ**、口には出ださ**ず**。

## 採点振り返り

- **打消「ず」と取り違えた問題**：「ず」が単独か、「むず（むずる・むずれ）」と2音セットかをまず確認。「むとす」に戻れば「むず」。
- **推量と意志を取り違えた問題**：主語が一人称・決意なら意志、三人称・自然現象なら推量。
- **婉曲・仮定を落とした問題**：「むずる」＋体言＝婉曲、「むずれ」＋ば＝仮定。形で判断。
- **間違えた問題は、傍線部が「ず」か「むず」かに印をつけ、主語を確認して解き直すと定着します。**